

アカルイ 介護ビジネス

若手経営者の新手法

第7回



はっぴーライフ代表取締役社長
出川 史
1978年1月生まれ、東京都出身。日本福祉教育専門学校卒業。老人ホーム、在宅会社の勤務を経て2002年(株)はっぴーライフ設立。2008年(株)エイチエル設立。今年6月、デイサービス検索サイト、デイケンサク(www.daykensaku.com)を開設。ブログのURLはhttp://ameblo.jp/eichi-eru

いるにも関わらず行っておりませんでした。これでは説得力が無いので、9月中旬に始めたブログが「毎日が一週一会」(http://ameblo.jp/eichi-eru)です。

「ブログ」と聞くと、「難しそう」、「自分はコンピューターに弱いから」、「などの声を聞くことがあります。しかしブログは難しくなく、誰でも簡単にできます。ブログ更新を携帯電話から簡単に出来るサイトもあるほどです。

弊社では、社員の9割がブログを書いていきます。弊社がブログを社員に勧めている目的は、大きく分けて3つあります。

一つ目は「パソコンスキルアップ」。介護職でパソコンに馴染みが薄いスタッフに、週に〇日は更新と決めて、パソコンを打つ習慣をつけてもらう。その事によってパソコンのスキルが上がります。

二つ目は「文章力の向上」です。介護保険は各業態によって、計画書、記録の量が多くあります。画一的な文

福祉事業者のブログ活用

安価な有効ツールを始めよう



今年の9月中旬から開始したブログ「毎日が一週一会」(http://ameblo.jp/eichi-eru)。開設以来ほぼ毎日日記やコメントを更新している。

章では、無理が生じてしまいます。自分の思いを文書化する習慣を持つ事で、文章の表現力、書き方の向上に繋がります。

三つ目は「情報の公開」です。ブログは情報の公開先を意識して書く事です。意識するのは、利用者様、利用者様家族、他事業所、自分の(同僚)家族、求職者：など。

利用者様自身はパソコンを使用しない方が多いのですが、そのご家族様は自分の身内が利用している施設、事業所の職員の事に関心があると思います。そういった時に職員のパソコンナリテイが分かる

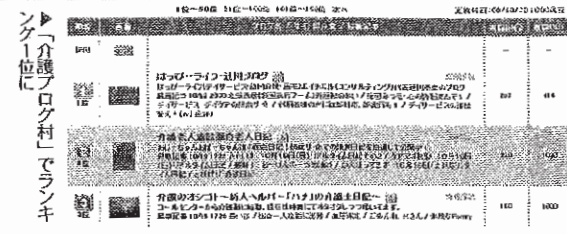
が多いと思います。どういった同僚と仕事しているかが明確だと、家族の仕事に対する理解も深まります。

「自分の(同僚)家族」を情報公開先とするのは意外だと感じられるかもしれませんが、これも大切です。利用者様のご家族様と同様に、職員の家族も自分の家族の同僚や、法人の特性に関心が深い事

「その法人の特性はどうなのか?」、「取り組みは?」などは気になるものです。とは言うものの実は私は、ブログを社員やクライアントに勧めて

特に管理者の方に感心のある、求職者へ向けたアプローチは重要です。求職者の立場からすれば、「どんな職員が居るのか?」、「その法人の特性はどうなのか?」、「取り組みは?」などは気になるものです。

開かれた明るいイメージの業界にする為に、ブログを始めましょう!



「介護ブログ村」でランキング1位に